

淀川水系流域委員会 第 92 回運営会議（2008. 1. 24 開催）結果報告		2008. 2. 1 庶務発信
開催日時	2008 年 1 月 24 日（木）10:00～11:20	
場 所	メルパルク京都 4F 研修室 2	
参加者数	委員 4 名 河川管理者 2 名 一般傍聴者 2 名	
<p>1. 報告の概要：庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。</p> <p>2. 審議概要および決定事項 次回委員会および今後の審議の進め方等について審議がなされた。決定事項と主な意見は以下の通り（例示）。</p> <p>①第 71 回委員会の進め方について 第 71 回委員会の審議内容が以下のように決定した。 ・第 71 回委員会：丹生ダムおよび川上ダムに関する総括的な審議 ・高時川・姉川における洪水対策の必要性・緊急性について、河川管理者の考え方を説明すべきであり、洪水対策として丹生ダム建設を原案に位置づけるのであれば、環境への影響を考慮した上でダムが最良策だとする説明が必要である（委員長）。 →第 71 回委員会の審議の中で説明させていただく（河川管理者）。 ・傍聴者発言に関して、今回は各審議の最後にそれぞれ発言時間を設ける（委員長）。</p> <p>②2 月以降の委員会の進め方について 2 月の委員会の審議内容が以下のように決定し、第 71 回委員会にて諮ることが決定した。 ・第 72 回（08/2/11）・・・淀川水系河川整備計画原案に関する総括的な審議 その 1 ・第 73 回（08/2/20）・・・淀川水系河川整備計画原案に関する総括的な審議 その 2 3 月の委員会の審議内容については第 72 回及び第 73 回委員会の審議を踏まえた上で決定することとする。 ・第 72 回及び第 73 回の委員会において河川整備計画原案に関する総括的な審議ができればと考えている（委員長）。 →これまでは治水、利水の議論が中心であったため、環境や利用、川と人とのつながりといった部分が審議テーマとして必要なのではないか。 →具体的な整備内容についての審議も必要になるのではないか。</p> <p>③その他 ○原案に対する質問の受付方法について 第 70 回委員会において募集した質問を最後に、委員会での原案に対する質問受付は終了することが決定した。今後質問がある場合は、従来からやられているように河川管理者へ直接提出してもらうこととなった。</p> <p>○運営会議の開催について 3 月以降の委員会の進め方に関する審議のため、運営会議を下記の日程で調整することとする。 ・第 93 回運営会議 候補日・・・2/21（木）午前、2/21（木）17 時以降、2/25 日（月）午前</p>		
(以上)		

※運営会議の結果報告は、主な決定事項等の会議結果をお知らせするために庶務から発信させて頂くものです。